



地域交流イベント「いなかみマルシェ」を開催。ものづくりに取り組む移住者が出展し多くの来場者で賑わった。

事例の概要

中山間地域の急激な人口減少によって、集落の名前が地図から消え、そこに残る歴史や文化などが消失していく状況を目の当たりにし、田舎だからこそできる持続可能な社会づくりを目指したいと、地元の高知工科大学卒業生を中心とした有志が「NPO 法人いなかみ」を設立した。

香美市から「移住定住交流業務」の委託を受け、Web サイトを活用した移住に関する総合的な情報発信や、相談者に寄り添った相談対応、空き家や周辺地域の現地案内、移住体験ツアーの開催、お試し移住体験住宅の管理及び入居者のフォローアップ、定住相談と交流機会づくり等の活動を行い、同団体が関与した移住者数は平成 27 年度から令和 2 年度までで 93 組 169 名になる。

移住促進の取組では、空き家の掘り起こしは行政が担当し、親しみやすい情報発信等は同法人が担当するなど、行政と密に連携し、それぞれの得意分野を活かした役割分担が良くできている。



都市部で開催される移住相談会に参加。相談者の希望をしっかりとヒアリングしつつ香美市の魅力や課題を紹介

評価のポイント

高知県香美市は、平成 18 年に香美郡香北町、土佐山田町、物部村が新設合併した自治体であり、高知市のベッドタウンという側面と、里山、奥山の自然豊かな地域という多様な側面を併せ持った自治体である。高知市や市街地へのアクセスがよく、こうした点は移住者の魅力になっていると考えられる。移住定住交流業務を担う NPO 法人いなかみは、香美市との連携、役割分担が非常に良くできており、ヒアリングにおいても良好な関係を感じることができた。移住定住交流施策に取り組む自治体が多いなかで、香美市において着実に移住者数が増加している理由として、以下の 3 点を挙げるができる。

第 1 は、香美市自体の移住環境の良さである。前述したように、アクセスの良さは移住のハードルを下げる。東京から飛行機で 1 時間 20 分、空港から香美市まで 20 分という距離は移住者にとって大きな魅力である。さらに、NPO 法人いなかみが業務委託を受けている「香美市ファミリーサポートセンター事業」により子育て世帯への支援も手厚い。移住と仕事は切り離すことができず、子育て支援は仕事の継続に欠かせない。教育についても香美市立大宮小学校が国際バカロレア認定校であることや、高知工科大学のキャンパスがあることなど質の高い教育機会が身近にあり、子育て世帯への安心感につながっている。

第 2 は、NPO 法人が移住業務を担うことによるメリットが複数あることである。行政が担当する場合と違って異動がなく、同じ人がずっと対応できる。また、良い意味で公平性を気にかけすぎずする必要もなくなり、情報発信もしやすい。移住応援サイト「いなかみライフ」は作り込み過ぎず良い感じに肩の力が抜けて、気軽に読むことができる。移住や仕事の情報以外のコラム欄の人気記事も非常に面白く「10 年間東京に居たヤツがいきなり猟師するところなる」、「電車慣れた都会人が 3 回オロオロする「ワンマン列車」ってご存知」など、行政の広報誌には掲載が難しいけれど、つい読みたくなり、かつ移住者の役に立つ実においしい塩梅の構成になっている。

しかし、第 3 に、何より重要なのは、NPO 法人いなかみの地に足の着いた真摯で丁寧な対応である。NPO 法人いなかみの包み込むような柔らかな存在感が移住者へ安心感につながり、着実な移住者の獲得につながっていると感じた。



移住希望者と一緒にバスで地域を巡る移住体験ツアー。先輩移住者の話や空き家見学などを通して香美市の暮らしを体感いただく



地域には改修しないと住めない空き家がたくさん。大工さんに教えてもらいながら空き家の床を張り直すワークショップを実施



ブログ形式で香美市の情報を届けるいなかみライフ。約 30,000PV/月のアクセスがあり SNS とも連動させながら香美市を発信中

D 高知県 香美市 (かみし)

団体名 ▶ 特定非営利法人 いなかみ
所在地 ▶ 〒785-0076 高知県香美市土佐山田町本村 214
連絡先 ▶ TEL : 0887-52-8606
E-mail : madoguchi@inakami.com
URL : http://inakami.net/

【交通のご案内】

自動車 ▶ 高知自動車道 南国 IC より約 15 分
国道 55 号 高知市街地より約 35 分
鉄道 ▶ JR 土讃線 (特急利用)
岡山から土佐山田駅まで約 2 時間 20 分
高松から土佐山田駅まで約 1 時間 55 分
高知から土佐山田駅まで約 15 分
航路 ▶ 東京 (羽田・成田) から約 1 時間 20 分
大阪 (伊丹) から約 45 分
名古屋 (小牧) から約 1 時間

● 国勢調査人口

市町村名	昭和 35 年	昭和 55 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
香美市	43,319	33,878	31,175	30,257	28,766	27,513

● 人口増減率

市町村名	H27/S35	H27/S55	H27/H12	H27/H17	H27/H22
香美市	-36.5	-18.8	-11.7	-9.1	-4.4

(単位: 人)

● 高齢者・若年者比率 (H27 年) (単位: %)

市町村名	高齢者比率	若年者比率
香美市	36.7	15.1

